

皆様 あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

2022年もいろいろな事のあった一年でした。毎年新年を迎えるごとに1年が過ぎるのは早いものだと感じるものですが、年齢を重ねるにつれてその早さが加速されていくように思うことはありませんか？1年の長さは同じですが、何歳の時の1年であるかによって人生に占める割合が変化していきます。10歳の子供の一年は人生の10%、50歳の大人の一年は僅か2%です。このことから1年の長さの感じ方は年齢とほぼ半比例して短く感じるようになっていく訳です。私はこれを人生の時間に関する感じ方の相対性理論のようなものだと考えているのですが、実は19世紀フランスの哲学者ジャネーが心理学的な解析から理論化した結果、ジャネーの法則という立派な名前が付けられています。そんなことを考えつつ過ごす年末年始、よく新聞やメディアで特集されるような2022年月別重大ニュース・ドイツ欧州版をご報告していきます。

1月 ロシアからの侵攻の危機を感じたウクライナは各国に武器援助を要請しましたが、ドイツは兵器の供与はせず、5000個のヘルメットを提供するに留まり、ウクライナの失望を買ってしまいました。ロシア軍の実際のウクライナ侵攻開始は2月25日でしたが今思えば戦争はすでにこの時から始まっていたと言えます。一日も早いロシアの撤退を願うばかりです。

2月 シュタインマイヤー大統領が再選されました。ドイツには行政の長である首相の他に国家元首である大統領も存在します。多くの場合政権与党側出身の閣僚・大臣経験者、最高裁判事など法曹界の重鎮などから国会議員による選挙で選出されます。任期は5年で一度だけ再選が認められています。シュタインマイヤー大統領は外務大臣・副首相経験者で与野党双方から大統領就任を期待されるなど国家元首にふさわしい資質のある方です。内閣の認証、大使着任の挨拶など通常王室や皇室が果たす役目を果たします。基本的に政治的中立を求められていますが、連立政権の首相指名が混乱した場合など各党首を説得調整して新首相誕生に寄与することもあります。



シュタインマイヤー大統領



大統領 官邸

3月 ベルリン郊外でEV車テスラの工場が稼働開始されました。EV車普及が70%を超えるとされるノルウェーではCo2排出量が40倍になっているとの研究結果もありガソリン車との比較で環境負荷への優劣はまだ確定的ではありません。ドイツでも2030年以降ガソリン車・ディーゼル車の販売が禁止されますが、これはマツダやトヨタといった日本

型エコカー締め出し策以外の何物でもなく、今後の開発状況によっては再びガソリン車が見直され販売禁止に様々な例外が設けられ結局骨抜きになる可能性もあると思います。いろいろと話題のイーロンマスク氏ですが実は私は大ファンです。



4月 ウクライナ情勢を受けてドイツでは2022年、防衛費を1000億ユーロ（14兆円）まで増額しF35戦闘機35機配備など、冷戦終結後縮小を続けてきた国防予算を再び増額する方向に方針転換しました。

5月 フィンランドとスウェーデンが相次いでNATO加盟の方針を決定し、NATO側も審査の迅速化で対応することを決定しました。現在加盟がほぼ決定しています。あまりロシアを刺激したくないフィンランド、スイスと比肩される中立外交を貫いてきたスウェーデンにとってウクライナの次は自国が危ないとの危機感が増してこの決定に至ったものです。ウクライナのNATO加盟阻止が侵攻の理由のひとつだったことを考えるとロシアは侵攻の結果、真逆の外交状況を招いてしまったこととなります。

6月 ショルツ首相がウクライナを訪問し ドイツ製対空自走砲ゲパルト24両の供与を約束し、迅速に移送を完了しました。50年以上前の設計で、進化した最新の航空機を撃墜する能力は無くなり、ドイツでは永く倉庫保管状態、博物館行・廃車の可能性もある車両でしたが、35mm機関砲二門はジェット戦闘機に比べて低速のドローンや無人攻撃機を撃墜するには十分な性能を持っており、ウクライナにおける第二の余生で新たな活躍をしています。

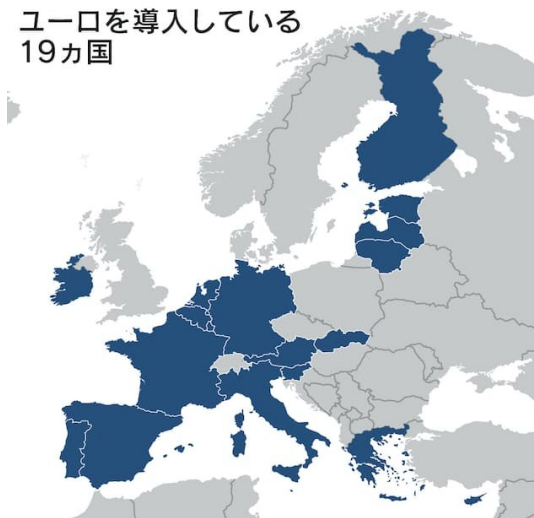


7月 元東欧のユーゴスラビアの一部、現在のクロアチアがユーロの導入を決定しました。実際の流通開始は2023年1月、つまり今月からです。クロアチアはEU加盟27か国中20番目のユーロ導入国となりました。ユーロ導入に至る歴史は本一冊でも足りないほどですが、ここでは2002年1月1日から現金流通が始まり、ユーロに関するすべての統括はフランクフルトにある欧州中央銀行（ECB）によって行われていることだけ記して

おきましょう。同時にクロアチアは欧州内の国境の廃止を規定したシェンゲン協定にも加盟しました。これによって同国と周辺 EU 諸国との国境検査は廃止されました。



ユーロを導入している
19カ国



8月 安倍元首相が銃撃され亡くなられたのは7月8日ですが、ドイツ欧州でも大きく報道されました。改めてご冥福をお祈りいたします。

9月 冷戦終結の立役者であるゴルバチョフ氏（91歳）が8月30日ロシアでひっそりと亡くなりました。ロシアによるウクライナ侵攻が無ければ諸外国からも多くの弔問客が参集したことでしょう。また9月8日には英国のエリザベス女王（96歳）も逝去されました。いずれもひとつの時代を代表する人物であり、その栄光はこれからの歴史の中で語り継がれてゆくことでしょう。ご冥福をこころよりお祈り申し上げます。



10月 福島での原発災害を受けて当時ドイツ国内に7基あった原発の運転停止計画を前倒したドイツでしたが、シュルツ首相は現在まだドイツに残る3基の原発について4月15日までに再稼働できるよう法整備を指示しました。最新の報道では全需要の半分がロシア産ガスであった状況は各地にLNG輸入供給基地を完成させた結果、ロシアからの供給を絶たれてもエネルギー不足にならず、今冬が現在暖冬であることも状況の緩和に役立っているようです。

11月 ワールドカップ、決勝こそ12月でしたが、私達日本人にとってはE組の予選リーグが最大の見どころでした。優勝経験国ドイツ、スペインに勝った11月23日と12月1日の栄光は以降未永く語り継がれることでしょう。まさか、まさかの2大会連続予選リーグ落ちのドイツです。格下の日本が一位通過なんて、有り得ない？ そう有り得ないことが起こるのがサッカーの面白さ、恐ろしさですね。ドイツのサッカーファンは全員ロシア大会に続いてカタール大会も歴史から抹消されたパラレルワールドの住人です。誰が得点王になろうと、どの国が優勝しようともまったく関心ありません。ホント気の毒なくらいです。次回は一緒に予選通過できるといいですね。

12月 先月ご報告済の通り、3年振りに開催OKとなったクリスマスマーケットは、三密回避の為会期も延長され外国からの観光客も少しずつ戻って盛況でした。私の関わる観光や通訳の仕事も少しずつ回復基調にあり今年2023年に期待です。皆様とも間もなく1月日本でお会いできる日を楽しみにしております。

以上 ドイツから